No.81
令和5年11月1日(発行)

# 社協 おうみはちまん

## 第13回近江八幡市社会福祉大会を、盛会裏に開催しました！

△ 市長・会長表彰等の受賞者の皆さんや福祉関係者の皆さんなど約150人の参加をみました。

△ コカリナ・ポポの西さんから「これからも地域福祉に尽くせればと会員一同張り切っています」と代表謝辞を

◁ 嶌本会長から、社会福祉大会の目的である「困ったときにお互いに助けてと言える地域づくりを目指しましょう」と力強いあいさつをされました。

9月30日、アクティ近江八幡で第13回近江八幡市社会福祉大会を開催。本大会は、永年本市の地域福祉の発展にご尽力いただいた方々に感謝の意を表するとともに、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して、社会福祉関係者および地域住民が一堂に会し、共感とつながりの輪を広げることを目的としています。

第1部式典は、近江八幡市長表彰、近江八幡市社会福祉協議会長表彰・感謝状の贈呈を行い、第2部シンポジウムは、「ひとりも取り残さないために~災害にも強い地域づくり~」と題しまして、コーディネーターの滋賀県防災支援赤十字奉仕団の中村準一さんからのお話や、話題提供者の方々の実体験などをお話しいただき、盛会裏に終わりました。

目次

社会福祉大会について…… 2・3
歳末たすけあい募金について…… 4
生活支援グループ・サロン江の島について …… 5
福祉ボランティア講座・身体障害者厚生会 …… 6
ふくしでまちづくり座談会・ステップアップ研修 …… 7
お知らせ （心配ごと相談・善意銀行など） …… 8

社会福祉法人 近江八幡市社会福祉協議会
ホームページ https://ohshakyo.or.jp/
近江八幡市土田町1313 TEL：0748-32-1781 FAX：0748-36-6910
E-mail:ohshakyo@gmail.com

ホームページはこちら

おめでとうございます

# 社会福祉大会表彰者の皆さん

永年本市の地域福祉の発展にご尽力いただいた方々に、感謝の意を表するため、近江八幡市長表彰及び市社協会長表彰を行い、また、社協・社会福祉活動に対し、多額の寄付をいただいた方々に感謝状を贈呈いたしました。今後とも、市の地域福祉の発展のために、ご協力をお願いいたします。表彰者等は次のとおり。

## 受賞者ご芳名（順不同・敬称略・常用漢字で記載しております。）

### 市長表彰（6個人・4団体）

村川君代　今井真記　坂本聖子　寺村二美栄　中島るみ子　道田としえ
友愛町づくり委員会　コカリナ・ポポ　小船木町ふれあいサロン　浄土寺町自治会ふれあいサロン

### 社会福祉協議会長表彰（33個人・5団体）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 廣瀬　敏 | 今井良治 | 森岡孝文 | 大澤正幸 | 山本一美 |
| 藤田厚子 | 野本みゆき | 松野下三枝 | 及川實枝子 | 大塚正雄 |
| 藤井時春 | 三橋利嗣 | 野村真愛 | 立岡敦子 | 中川千穂 |
| 井上由紀子 | 黒瀬淳子 | 田中由美 | 西川喜代美 | 塚本正恵 |
| 青木里沙子 | 山中眞理子 | 須亦勇希 | 廣瀬裕希 | 北村春菜 |
| 小原裕美 | 岡地佳世 | 村瀬ちづる | 佐野正裕 | 梅村美代子 |
| 荒井依留 | 榊原かず子 | 小川初子 | | |

金よう茶屋　加茂町ふれあいサロン　サロン江ノ島　永町あすなろ会　あしがる

社協会長表彰で保護司の廣瀬さんが代表受領されました。

### 社会福祉協議会長感謝状（5団体）

近江八幡商工会議所・安土町商工会合同地域福祉チャリティゴルフコンペ
株式会社かんき建設かんき建設リボーン倶楽部
近江八幡市仏教婦人会　八幡学区婦人会
八幡仏教婦人会

嶌本会長から、かんき建設リボーン倶楽部さんに感謝状が贈られました。

## 社会福祉大会第2部シンポジウム【テーマ】「ひとりも取り残さないために～災害にも強い地域づくり～」を開催!

今回のシンポジウムは、普段から孤立を防ぎ、困ったときにお互いに支えあいのできる関係づくりを進めていけるよう、災害時を想定して「ひとりもとりのこさないために」どのようなことを考えておくべきなのかを、滋賀県防災支援赤十字奉仕団の中村準一さんをコーディネーターとして、話題提供者の、きぬがさ作業所長の堀尾毅さん、障がいのある娘をもつ田添京子さん、高齢者の見守り活動を行っている見守りライオンズハートの三澤慶子さん、近江八幡市福祉政策課長の中村孝造さんの4名とともに考えました。

実体験の話にメモを取るなどして熱心に聞き入る参加者の皆さん

←次ページに続く

**【障がい者に対する被災地支援を体験してきた堀尾さんから】** 宮城県での震災直後に支援物資の配達や障がい者へのニーズ調査を経験し、過酷な避難所生活を見てきました。障がいのある方に、何か困っていることはないですかと聞いて回るボランティアをする際に、避難所の方から「障がいのある方をなぜそんなに特別扱いにするのですか」とよく言われました。障がいのある方には、被害を受ける大きさに違いがあることを知ってほしい。避難所での集団生活ができない、避難所に居づらくなり、壊れた自宅に帰らざるをえない、そうすると、支援物資が届かない現状がありますと。福祉避難所の必要性、要支援者名簿の充実、普段から地域が障がいのことをもっと知ってほしいと訴えました。

話題提供者
（左から、堀尾さん、田添さん、三澤さん、中村課長）
の4名から自らの体験談などを。

**【重度の障がいがある娘をもつ田添さんから】** ダウン症、心臓疾患、器官狭窄など重度の障がいがある娘の生い立ち、現在の暮らしぶりなど、また、災害時の心配なことを話されました。娘に必要な医療ケアは、吸引、経管栄養、呼吸器などですべてに電源が必要で、その備品は、カテーテル、シリンジなど病院から支給されたもので一般調達ができないものです。一度災害が起こったら、避難するとき、避難所での食事をとるとき、体温調整、環境など、心配はつきません。避難所での集団生活、泣いたり声を出したり、迷惑をかけてしまう。身体障がいと知的障がいでは、状況が全く違います。一人ひとりに合った特別なケアが必要ですと訴えられました。

**【高齢者の見守り組織を立ち上げた三澤さんから】** 駅隣接マンション14階建て3棟約200世帯の自治会。当初は、子育て家族が多かったが、現在は70歳以上の高齢者も増え、高齢化率約20%となっています。マンション特有なのか、近所付き合いが希薄、孤立しやすいなど、週1回のふれあいサロンを行って、和気あいあいと楽しむ交流の場となり、悩み事などを話すなど効果が出てきました。昨年から、定期的な声掛け、課題を共有して、問題点を話し合う「見守りライオンズハート」を始めました。誕生会や手作り活動、茶話会など声掛けをして、誰もが安心して暮らせるマンション生活、困ったときに助けてと言える関係づくりを進めています。マンションは14階建て、消防車は11階までしか届かない、どうしていくのかと話合いを始めていますと話されました。

**【市福祉政策課長の中村さんから】** 避難行動要支援制度とは、災害時など自力で避難することが難しい方に、地域の助けあいの力で、安全に避難できるようにするための制度。東日本大震災のとき、被災死者数の約6割が高齢者（65歳以上）であったことや障がい者の死亡率が全体の死亡率の約2倍であったことから、行政で避難行動支援者名簿の作成義務が規定されました。また、個別避難計画の作成が、市の努力義務となったことを説明されました。

**【コーディネーターの中村さんから】** 事業所、障がいをもつ当事者、支援者など様々な立場の方が日常的に防災・減災に取り組んでおられることに力強く感じました。これらの個別の取組みを超えて防災と福祉の部局が連携する必要があると強調されました。滋賀県は、この連携を具体化した「滋賀モデル」が示され、防災部局と福祉部局が協力して個別避難行動計画を策定することで、災害時に誰もが安全に避難できる社会の構築を目指しています。しかし、近江八幡市においても、これらの取組みが市民に十分に知らされていない現状から、このシンポジウムを通じて、これらの制度や取組みを周知し、市民の皆さんが制度を理解し、活用できる社会を目指すことが重要であると総括されました。

中村コーディネーターから
「被災地での死亡者数の約6割は高齢者で、障がい者の死亡率は全体の死亡率の2倍となっています。周りができることを考え、乗り越え生き抜こう。」と。


ふくしのお困りごとは
市社協まで！　0748-32-6111

# 12月1日から歳末たすけあい募金がはじまります。

「つながり　ささえあう　みんなの地域づくり」をスローガンに今年も12月1日から12月31日まで歳末たすけあい募金運動がはじまります。

歳末たすけあい募金は、共同募金運動の一環で地域住民のさまざまな福祉課題に向けた募金運動です。近江八幡市では、各学区社会福祉協議会が取り組むさまざまな福祉課題にむけた事業や、生活困窮世帯への生活・食料支援等に活用させていただきます。皆さまのご協力をお願いします。

## 赤い羽根共同募金10月2日、一斉街頭募金　ご協力ありがとうございました。

▲バロー近江八幡店

▲近江八幡駅前

▲フレンドマート安土店

## 募金額　64,969円が集まりました!

赤い羽根共同募金が、10月1日から12月31日までの期間で実施しています。10月2日、市内の量販店等7カ所において各学区社会福祉協議会の役職員の皆さんのご協力を得まして、一斉街頭募金を実施しました。おかげをもちまして、市民の皆さんのご協力を得て、多くの募金が集まりました。誠にありがとうございました。

国土交通大臣認定 屋外広告士資格取得
看板屋 美十ビジュー
各種看板・横断幕・のぼり旗
〒523-0895 近江八幡市宇津呂町 34
☎0748-32-3668　FAX 0748-32-0900
bijuu2@zc.ztv.ne.jp

HIYOSHI
引越し・リフォーム、ハウスクリーニングの
粗大ごみ収集・片付け
排水管のつまりを解決!!
株式会社日吉
ご用命は排水管洗浄担当 ごみ収集担当へ!!
TEL (0748) 32-5555

# 地域福祉課　生活支援グループの事業を説明します！

生活支援グループは、「福祉の困りごとは社協へ」と福祉の相談を気軽にしていただけるよう、周知を図りながら、困りごとを受け止め必要な支援につなげることや、地域で安心して暮らしていくために支援の必要な方に寄り添う支援活動を行っています。主な事業は、次のとおりです。

### ●総合相談
心配ごと相談を平日の偶数日に実施しています。相談員は、民生委員・児童委員さんです。

### ●特例貸付借受人フォローアップ支援事業
特例貸付返済免除の承認を受けた方や返済が困難な方など特に支援が必要と考えられる借受人に対し、可能な限り訪問等のアウトリーチによるプッシュ型支援を実施し、借受人世帯が抱える様々な生活課題の解決に向けた支援を行います。

### ●就労準備支援事業（市委託）
直ちに一般就労への移行が困難な生活困窮者に対して、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を、計画的かつ一貫して支援を行います。

### ●生活困窮者世帯支援事業
共同募金を財源にした、生活困窮者への食糧支援を1年に1回限り、支援を実施します。

### ●生活福祉資金貸付制度
低所得者世帯、障害者または高齢者のいる世帯に対し、資金の貸し付けと必要な相談支援を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れることを目的とした「福祉の貸付制度」です。

### ●地域福祉権利擁護事業
認知症高齢者、知的や精神に障がいのある方など判断能力が不十分な人が住み慣れた地域で自立した地域生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理等を行います。

### ●暮らしづらさを抱えた方の中間的な居場所づくり（ねこの手・こねこの手【女性限定】）
暮らしづらさを抱える人が、ボランティア作業をしながら安心して集える居場所づくりを提供しています。

### ●ひきこもり当事者の家族教室
ひきこもりの家族を抱える人が、同じ悩みを持っている人同士でつながることで必要な情報を得られ、孤立を防ぎ、互いに共感し、安心して参加できる場をつくることを目的に実施しています。

**どこに相談したらよいかわからない・・・。**
**お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。**

## サロン江ノ島

### ヨシ灯り展に向けて、出展作品「おりづる」を制作!

サロン江ノ島（山中治美代表）は、民生委員・児童委員や福祉協力員などで、平成13年から活動されています。江ノ島自治会の交流の場として、高齢者、障がい者、子どもたちなど様々なかたが参加されています。この時期（8月から9月にかけて）は、ヨシ灯り展の出展に向けて。作品の製作期間は、概ね1か月で、構想づくりに意見をかわし、お盆過ぎからは、ヨシ灯り展への出展準備のため、平日に毎日サロンを開いて活動をされています。材料になるヨシの皮をむき、割ったり、叩いたりして、型に張っていきます。第2回西の湖ヨシ灯り展から、今年で16回目を迎えます。地元で開催される展覧会を応援したいという思いと、西の湖ヨシ灯り展への出展は、ただ単に作品づくりをするということだけではなく、人づくりにもつながるものと思っています。今回、出展される作品はおりづるを模したもので、高さ約1.8mにも及ぶ大作となっています。おりづるの下から、ヒンメリ（フィンランドの伝統的な装飾品）を模したものにランタンを施し、照明によっておりづるが浮かび上がる工夫をされていました。

第17回ヨシ灯り展は、9月23日、24日の連日にわたって開催され、今回も、特別賞を受賞され、小中学校、大学、自治会などの作品が毎年約400以上出展され並んでいます。秋の夕暮れに、幻想的な雰囲気が醸し出されます。今年も盛大に開催されました。

サロン江ノ島の皆さまには、今後もサロン活動を、継続・発展されることを期待しております。

出展作品「おりづる」は約1.8mにもなる大作、ヒンメリでおりづるが浮かび上がるような仕様で、それぞれの型にヨシを張り合わせる作業をこつこつと慎重にしていました!

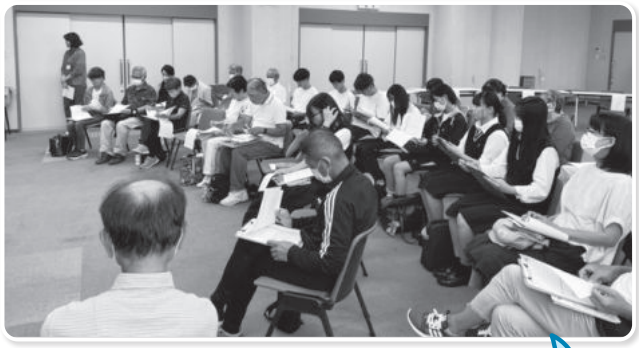

ふくしのお困りごとは
市社協まで！　0748-32-6111

## 福祉ボランティア講座を開催しました。

### 『身近な福祉を知って　感じて　そして話し合おう！』
### ～見つけてみよう！わたしたちができることのヒント～

地域での支え合いのまちづくりを目指し、ボランティア活動のきっかけ作りとなるよう、ひまわり館にて第1回ボランティア講座を開催しました。高校生や一般応募の方など22名の参加者があり、市内の9つのボランティア団体の活動紹介に熱心に耳を傾けていました。参加者たちは、10月6日から28日までの間に、各々興味のあるボランティア活動に参加し、実際に体験いただいて、11月11日（土）には、受講生どうしでの交流会を予定しています。

それぞれの団体に、活動についての思いを熱く語っていただきました。



「いろんな活動があることを知り、参加してみたい」「自分のためにもなると思う」という感想も。

## ～身体障害者厚生会の活動を紹介します～

新田会長から「身体障害者厚生会に入ってほしい。いろんな障がいをお持ちの方と、これからの共生社会を頑張って生きていきましょう」と力強いメッセージ。

近江八幡市身体障害者厚生会（新田正紘会長：会員149名）は、会員相互の連絡を密にし、身体障害者の福祉増進と自立更生に努めることを目的に、今年で設立73年を迎えます。最近は、コロナ禍で事業の縮小を余儀なくされましたが、ようやく通常の事業開催に戻りつつあります。5月には、会員一同が集まる総会の開催や6月にはグランドゴルフの開催など、また10月には研修旅行も控えており、徐々に活動・事業を推し進めています。

新田会長は、「とにかく、身体障害者厚生会に入会してほしい。いろんな障がいのある方々と、この共生社会をともに頑張りたい。」と。また、「令和3年の災害基本法の改正によりまして、障がい者の個別避難計画の作成が行政の努力義務となったことから、誰一人取り残さないために、災害時の個別避難計画、なかなか進まない現状をみるにつけ、スピード感をもった対応をしてほしい。」と要望をされていました。

6月ふれあい公園で開催されましたグランドゴルフ!
会員相互の親睦を図り、心地よい汗を流しました!

会員数が増えないなどの課題も山積するなか、自立更生に向けた取組みなど、身体障害者厚生会の活動がますます発展することを期待します。

# 今年度もふくしでまちづくり座談会を開催しています。

ふくしでまちづくり座談会は、第3次地域福祉活動計画の基本目標を地域の皆様やさまざまな関係機関の皆様と共有すること。そして誰もが住みよい福祉のまちづくりに向けて手をつないでいくためにお互いに「顔見知り」になる第一歩、それがふくしでまちづくり座談会です。昨年度から各学区社協と協力して順次開催をしており、令和4年度は武佐、老蘇、北里、島、桐原の5学区で開催をしました。

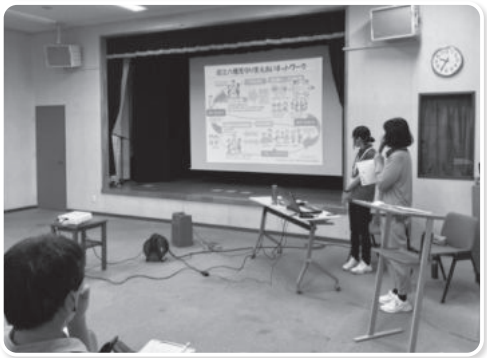
八幡学区でも、立場の違った方々の話し合いの場をもって、地域の福祉課題やその解決策など話し合いました。

令和5年度は6学区で開催予定です。学区によって参加される方も様々ですが、福祉の話し合いの場に新しい風が吹き込むよう、普段は接点のない方に呼びかけています。例えば学区の地域福祉活動者や見守りグループ、学区生活支援グループ、障がいのある当事者、病院のソーシャルワーカー、障がいの相談事業所、地元の商店、配食サービス事業所、子ども食堂、子育て関係のNPO、小・中学校の校長先生、行政などです。このような多様な方の参加によって8月に開催された金田学区座談会は、子ども分野の団体と障がい分野の団体とで交流され、コラボ企画ができないかと話が弾む様子が見られました。

これからの地域の福祉課題を解決するために、私たちの身近な地域で一緒にできることを話し合い、少しずつ力を、手を携えていけば、小さな力が大きな力になります。
ふくしでまちづくり座談会がそのきっかけになれたらと思います。

# 令和5年度　福祉協力員ステップアップ研修を実施

9月6日、9日の2回に分け、令和5年度福祉協力員ステップアップ研修を実施しました。今回の研修は市内の福祉協力員さん、学区域の生活支援グループの方々を対象に実施しました。地域で孤立している人に気づき、つながり、必要な機関につなげ、その後も見守っていくための具体的な手法について学ぶ研修です。



研修の趣旨「地域で孤立している人に気づき、つながり、つなげていく」など具体的な手法を学んでほしいと。

社会福祉協議会は、これまで地域の皆さんと一緒に、地域の困りごとにあった見守り支え合いの活動を推進し、困っている人をキャッチしてどのように解決をはかっていくかをみなさんと一緒に考えてきました。その中で「孤立している人にどんなふうに声掛けしたらいいかわからない」「個人のことにどこまで踏み込んだらいいのかわからない」「関係機関につなぐときにどう伝えたらいいのかわからない」などの声を聞いており、少しでもその悩み解決につなげられるよう、社協も一緒に考えて行けたらと思っています。

小グループに分かれ、声かけの仕方がわからないなど疑問を出し合うなど意見交換を行いました。

ステップアップ研修は、2日間で85名の参加があり、「声掛けの仕方が分かった」「今まで悩んでいたことが解消できた」「映像を使った研修は斬新で良い」「実践ですぐ使うことができる」などの意見をいただきました。今後の各地域でのご活躍を期待しています。


ふくしのお困りごとは
市社協まで！　0748-32-6111

# 心配ごと相談所

どこに相談すればよいのか・・・。
そんな時は、近江八幡市社会福祉協議会へお気軽にご相談してください。
民生委員・児童委員が相談を聴いて、行政や関係機関につなげます。

**相談日：平日の偶数日（祝日を除く） 13時～16時**
**場所：総合福祉センターひまわり館**

11月 2023

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

12月 2023

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

1月 2024

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

# ありがとうございます！ 善意銀行便り

令和５年８月１日～令和５年９月30日

心温かいご寄付をいただきました。皆さまのご厚意に感謝申し上げます。
社会福祉や地域福祉活動に活用させていただきます。

（敬称略・順不同）

## 預託

### ✖寄付金

- 藤田花・愛……1,500円
- 匿名1件……5,000円

### ✖寄付物品

- キャンディボム近江八幡店…りんご86個
- 株式会社バローホールディングス
  ……ゼリー 72個、かぶ千枚漬の酢20袋
- 青木憲二……白米30kg
- 匿名19件……米462.5kg
  食料品50点、衛生用品6点、食材2kg

## 払出

### ✖払出物品

- 子ども食堂10か所……米285kg
  食料品192点
- 子ども支援団体1か所……米60kg
- 生活困窮者……食料品9件、日用品3件

# 市防災訓練に　赤十字奉仕団とともに参加しました!

8月27日、午前7時から「令和5年度近江八幡市防災総合訓練」が行われました。社会福祉協議会は、災害ボランティアセンター設置運営訓練に、市赤十字奉仕団（髙木委員長ら団員26人）は、炊き出し訓練に参加。災害ボランティアセンター設置運営訓練は、ソーラーパネルで電気を起こし、パソコンとポケットWi-Fiを使い、情報発信をする訓練。炊き出し訓練は、ハイゼックスご飯400人分の炊き出し。髙木冨砂子委員長は「最近の異常気象はいつ大きな災害が起こるかわからない。日頃の備えは必要です。今年は、ハイゼックスご飯の炊き出しとロケットストーブで調理した味噌汁を準備しました。」と。

▲災害ボランティアセンターの設置等の情報を、県社協や民生児童委員など協力団体に送受信する訓練を実施。

## 編集後記

11月は霜月（しもつき）ともいわれ、秋の深まりを感じる季節です。行楽のシーズンなので旅行やスポーツ、紅葉などが見頃ですね。寒さに負けないようそれぞれの秋をお楽しみください。来月は「歳末たすけあい募金」運動が始まります。地域で暮らす誰もが安心して年末の時期を過ごすことが出来ますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

R70 古紙配給率70%再生紙を使用しています
Environmentally Ink (Vegetable oil Non VOC)
Waterless Printing. Naturally.
●インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷

この広報紙は会費と共同募金の助成金でつくられています